

製品安全データシート
(スクリーン印刷用インキ)

1 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称: 13 インキシリーズ

会社名: 帝国インキ製造株式会社

住所: 116-0011 東京都荒川区西尾久 8-43-2

電話番号: 03-3800-6760 FAX 番号: 03-3800-6603

緊急連絡先: 帝国インキ製造株式会社 研究所 電話番号: 03-3800-6760

作成日: 2001年09月06日 改定日: 2007年 11月09日

2 組成, 成分情報

化学名又は一般名	濃度範囲	化学式	CAS No.
トルエン	00.0~01.0	C ₆ H ₅ CH ₃	108-88-3
シクロヘキサノン	20.0~50.0	C ₆ H ₁₀ O	108-94-1
芳香族炭化水素系溶剤	01.0~20.0		社外秘
ケトン系溶剤	01.0~20.0		社外秘
多価アルコール系溶剤	00.0~10.0		社外秘
着色顔料(体質顔料含む)	00.0~50.0		社外秘
塩酢ビ・アクリル系樹脂	10.0~30.0		社外秘
補助剤	00.0~10.0		社外秘

国連分類: クラス 3 引火性液体類(引火点が 23°C 以上のもの) 国連番号: 1210

危険有害性成分: 引火性液体で急性毒性物質(トルエン, シクロヘキサノン)を含む。

化学特性に関する情報: 本製品は、化学的には安定であるが高温高湿での取扱いは避ける。

法令*で通知することが義務付けられた化学物質については、最終頁の「化学物質情報」を参照

* i 労働安全衛生法: 表示対象物及び通知対象物

* ii 化学物質管理促進法: 第一種指定化学物質及び第二種指定化学物質

* iii 毒物及び劇物取締法: 毒物及び劇物

3 危険有害性情報

最重要危険有害性及び影響: 有機溶剤中毒予防規則第二種有機溶剤(トルエン, シクロヘキサノン)を含む。

有機溶剤中毒予防規則第三種有機溶剤(コールタールナフサ)を含む。

毒物及び劇物取締法に該当する物質を含まない。

消防法の第四類第二石油類に該当する。

特定の危険有害性：吸引・経口及び皮膚や目に対する刺激性がある。また、許容濃度をはるかに超える高濃度の場合には、意識の低下や喪失が考えられる。

4 応急措置

応急措置の方法：極力人体へのインキ付着を避け、もし付着した場合には下記に示す方法で措置すること。また、吸入した場合や飲み込んだ場合においても下記に従うこと。

皮膚に付着した場合：石鹼などを用いながら、十分な水または温水で洗い流す。もし皮膚の炎症などが認められた場合は、直ちに医師の診断を受ける。

目に入った場合：直ちに多量の水または温水で15分間洗い流し、その後に医師の診断を受ける。

吸入した場合：多量に吸引した際には、ただちに新鮮な空気のある場所へ移動する。身体を毛布などで覆い、保温して安静を保ち速やかに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄する。吐き出させると気管支に入る可能性があるため吐き出させずに直ちに医師の診断を受ける。

5 火災時の措置

消火方法：着火の場合には、下記消化剤を用いて消火を行うこと。

消化剤：粉末、泡、二酸化炭素、乾燥砂、強化液

消火を行う者の保護：消火作業の際には、必ず保護具を着用し、風下で作業を行わない。

周辺火災の場合：速やかに容器を安全な場所に移す。

6 漏出時の措置

除去方法：製品付着の着火源となるものを速やかに取り除く。漏出した製品は、土砂などで流れを止め、密閉可能な金属容器などにヘラで回収する。その後にウエス等で拭き取るか、多量の水で洗い流す。

人体に対する注意事項：風下の人を避難させる。漏出した場所の周辺にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。作業の際には必ず防護具を着用し風下で作業を行わない。

環境に対する注意事項：河川や土壌への流出が広範囲に渡らないように場合に応じて、盛土などを対策を施し安全な場所まで導いてから回収する。

7 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い：取り扱い場所は、火気厳禁とし、換気を十分に行う。

操作中は、できるだけ皮膚の露出を避け、皮膚に付着しないようにする。特に手には、ゴム手袋を着用する。

操作中は、目に入らない様に保護眼鏡を着用する。

操作中は、吸入しない様に保護マスクを着用する。

この製品を拭き取ったウエスなどは、速やかに焼却または廃棄する。

取り扱い後は手洗いとうがいを十分に行う。

技術的対策：全排気装置、もしくは局部排気装置を設置し、許容濃度以下の環境にする。また、電気機器類については防爆型のもの、工具は火花防止型のものを用いる。

注意事項：使用する以外は、缶の密閉を徹底し蒸気の飛散を防ぐこと。極力人体への接触を避け、もし付着した場合には速やかに除去すること。

安全な取扱い事項：衛生管理者、有機溶剤取扱い作業主任者、危険物取扱い主任者の指導のもとに適応法令に従った取扱いをすること。

保管：換気良好な冷暗所に保管する。

適切な技術的対策：消防法に基づく危険物保管設備に保管すること。

混触禁止物質：酸化性物質、強塩基性物質と同一場所に保管しない。

保管条件：完全に密閉された状態で保管すること。高温多湿の環境下や低温結露などが発生する環境下での保管は避ける。なるべく温度差が激しくない常温で保管すること。

安全な容器包装材料：鋼製缶を用いること。

8 暴露防止及び保護措置

許容濃度：トルエンの許容濃度

ACGIH (02年) TLV-TWA 50ppm

日本産業衛生学会勧告値 (02年) 50ppm

シクロヘキサノンの許容濃度

ACGIH (93～94年) TLV-TWA 25ppm (皮)

日本産業衛生学会勧告値 (94年) 25ppm (皮)

保護具：呼吸用保護具(簡易防塵マスク)、保護眼鏡、保護手袋、保護衣の着用。

9 物理的及び化学的性質

色：有彩色もしくは、半透明。

物理的状态：ペースト状 (半固体状)

物理的状态が変化する温度/温度範囲：有機溶剤が飛散すれば、固体となる。

臭い：特に有機溶剤臭が伺える

比重：1.1～1.45

引火点：46.5～47.0℃

爆発範囲：1.6～5.8 Vol% (シクロヘキサノン)、1.2～13.1 Vol% (多価アルコール系溶剤)

1.0～7.0 Vol% (芳香族炭化水素系溶剤)、0.84～3.8Vol% (ケトン系溶剤)

1.3～7.0 Vol% (トルエン)

溶媒による溶解性：有機溶剤に溶解、水には難溶。

10 安定性及び反応性

当該化学物質などの安定性：一般取り扱い環境下では、安定。

特定条件下で生じる危険な反応：特になし。

危険有害な分解性生成物：特になし。

避けるべき条件：高温、多湿に放置しない。

11 有害性情報

急性毒性：LD50 経口 ラット

シクロヘキサノン：1,535mg/kg

芳香族炭化水素系溶剤：4.3 ml/kg

多価アルコール系溶剤：4,300mg/kg

トルエン：636 mg/kg

急性毒性：LC50 吸入 ラット

シクロヘキサノン：8,000ppm/4H

ケトン系溶剤：1,840ppm/4H

トルエン：49 g/m³/4H

局所効果：知見なし

特定の影響：墨インキ中に含まれるカーボン顔料について、粉体の状態では IARC (国際癌研究機関) の結果よりグループ 2B に属する。印刷塗膜状態では知見なし。

12 環境影響情報

分解性：87% (by BOD) (シクロヘキサノン), 分解性：112~129% (by BOD) (トルエン)

13 廃棄上の注意

残余廃棄物：密栓できる容器に廃棄する。横転しても内容物が外部に流出しないようにする。焼却する場合には、特別管理産業廃棄物処理基準に従って焼却処分する。

外部委託の場合には、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託する。

汚染容器・包装：汚染容器・包装についても同様に特別管理産業廃棄物として処分する。

14 輸送上の注意

容器に漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み荷崩れの防止を確実に行う。

国際規制によるコード及び分類に関する情報：

IMDG Code; (P.3377)クラス 3

国連分類：クラス 3 引火性液体類(引火点が 23℃以上のもの)

国連番号：1210

15 適応法令

廃棄物の処理及び清掃に関する法律：特別管理産業廃棄物の適用を受ける。

労働安全衛生法：表示対象物及び通知対象物

労働安全衛生法：有機溶剤中毒予防規則 第二種有機溶剤 (トルエン)

有機溶剤中毒予防規則 第二種有機溶剤 (シクロヘキサノン)

有機溶剤中毒予防規則 第三種有機溶剤 (コールタールナフサ)

化学物質管理促進法：第一種指定化学物質 (No. 227 トルエン)

消防法：第四類第二石油類 非水溶性液体(1,000l)

16 その他の情報

記載内容の問合せ先: Tel.03-3800-6760 研究所

この「製品安全データシート」は安全保証書ではありません。本製品を取り扱う場合はこの「製品安全データシート」を参考として、使用者の責任において実態に応じた適切な処置を講じて下さい。また、「製品安全データシート」の内容は、法令の改正及び新しい知見に基づき改訂されることがあります。

